



校長室だより

武生第五中学校 校長室
令和6年 4月10日(水)
第2号

入学式が行われました！

4月8日(月)午後1時30分からは令和6年度入学式が行われました。例年より開花が遅れた五中坂の桜も満開になり、2, 3年生が午前中に用意してくれた会場で、12名の新入生を迎えることができました。入学式では、次のことを話しました。



新入生の皆さん、ご入学、おめでとうございます。

皆さんのご入学を、在校生、本校教職員一同、心よりお待ちしております。皆さんは、ただ今から、伝統ある武生第五中学校の生徒の一人となりました。

さて、みなさんの入学にあたって、ここにある一つのビンを紹介したいと思います。このビンの中に入っている土は、甲子園の土です。どうして、この土を持っているかというと、私が担任をした生徒が持ってきてくれたからです。その生徒は、野球が大好きで、放課後誰よりも早くグラウンドに行き、一生懸命練習に励んでいました。そして、中学校を卒業するときには、「甲子園に行くから応援しに来てください」といい、高校三年最後の夏の県大会で強豪チームを倒して、甲子園のマウンドに立つ姿を見せてくれ、見事有言実行しました。



また、本校の卒業生でみなさんの先輩にあたる平林清澄選手は、二月の大阪マラソンで日本学生新記録を出して優勝しました。平林選手が初めて駅伝の楽しさを知ったと話をしているのが中学校の時の南越地区駅伝に参加した時だそうです。そこで、駅伝に出会い、現在、箱根駅伝優勝、そしてロサンゼルスオリンピックを目指して走っているそうです。インタビューでは、「僕にとって箱根駅伝で何かを学び、次につなげることが大事。それは世界かもしれないし、どこに指標を置くかまだわかりませんが、いずれは世界で戦いたいと思います。」と語っていました。

中学校は夢を見つける場所です。自分の将来の姿を想像し、目標を持ち、自分だけの夢を見つけていってほしいと思います。その夢を見つけるためには、いろいろなことに挑戦することが大切です。失敗してもかまいません。今年、ドジャースに移籍した大谷翔平選手も「成功するとか失敗するとか僕には関係ない。それをやってみることの方が大事。」と言っています。ぜひ、いろいろな事に挑戦して、充実した中学校生活を送っていきましょう。先生たちは、みなさんを応援しています。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお喜び申し上げます。

本日より、大切なお子様をお預かりいたします。私ども教職員一同、保護者の皆様や地域の方々のご期待に添えますよう、最善の努力をしてまいります。

本日入学された、十二名の生徒の皆さんの、活躍を期待すると共に、これからの学校生活が、実り多いものになることを願っています。

一年生のみなさんが入学してきました。来週には、部活動の体験入部も始まります。じっくり考えて、しっかり選んでください。2, 3年生のみなさんも進級して、新しいことが始まり、心身とも疲れるかもしれません。しっかり休めるときには休んで、一日一日を楽しんで過ごしていきましょう。

